

山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫(記録、写真) 倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 4 月 6 日(木) 9:30～15:30

気象：天候=曇 時々 晴、気温(12 時)=15℃

作業エリア：45 林班ろ-04(谷)

作業内容：伐倒後放置木の整理、枝打ち、など

活動参加者：斧田一陽 石原順子 倉谷邦雄 武田壽夫 中村賢三 宮本 廣 計 6 名

<今日は何の日？>

春、新年度初の作業日。とは言え、麓の原の集落では桜は 5～7 分まで咲き揃ってきたが、本山寺の山桜はまだまだで「谷の鶯」も 声が聞こえない。代わりに、どこからか鹿の鳴き声が耳に届く。この時期の鳴き声は長く尾を引く長音と違ってピッピッと短音節に聞こえる。天気予報は下り坂、雨に捉まらなければと案じながら作業にかかる。

<今日の作業>

「45 林班ろ-04」での作業はいよいよ谷の最上部、植林地の端の仕上げを進める。伐採後残置木の玉切り・棚積み、枝打ち、などである。チェーンソーは斧田氏、他の 5 人は鋸と高枝切り鋸で作業。

<傾斜 30 度超の足下難>

谷から尾根に上がって行くにつれ急傾斜になる。湿った地面はすべり易く、油断すると数メートルは滑り落ちることがある。その上、いつも心憎いことだが、上に進むにつれ、下からは見えなかった残置木が目に入ってくる。それでも漸く自然林との境まで概ね整備を進めることが出来た。

ただ、掛り木なっている大径木の処理にはいつも難儀する。長さは 10m を越え、上は立木の枝に引っ掛かっている。ロープで方向を固定しながら根元近くにチェーンソーを入れ楔を打ち込む。下を切り離れた所でロープを引いて揺さぶる。それで漸く摺り落ちてくれる。

一方、枝打ちの方も随分進んできた。改めて見上げると幹がスッキリした植林地の姿には感心する。

<一日を振り返って>

帰路、山を下るにつれフロントガラスに雨滴が広がり始める。雨に会わず、怪我もなく先ずは順調な作業を終えたと一日を振り返る。次の作業日からはそろそろ標高の高い 44 林班の整備やナラ枯れ対策更新に進む段取りになる。(訂正 1 件：前号紹介の美味しいパン屋さん、名前は”Shu Shu Melon”,但し、場所は高槻駅西口近く。お詫び少々、今回は「ろまん」の巻寿司は如何？森林づくり会員の御用達で、夕食のお土産にもどうぞ)

(本文-以上)



揃って作業始め



最大の難物 奥に見える掛り木を片付けたい



チェーンソーで根元部分を切り楔を入れて切り落とす



ようやく揺さぶり落とし、サア、これから玉切り作業



棚積み完了



昼のお奨め「ろまん」の巻寿司



昼休み中



枝打ち



枝を落とした綺麗な幹が並ぶ



残置木の玉切り、棚積みで足下もサッパリ



これが噂の巻寿司屋



駅西口側のパン屋さん